

講演④

水の安全をまもるー水源の環境と水をきれいにする技術！

浅見 真理

講演概要

国立環境研究所では2025年度から水道の水質の研究を行っています。皆さんの水道水はどこから来ているかご存じですか？ つくば市周辺では霞ヶ浦の水を浄水場で処理して水道水にしています。霞ヶ浦は昔は海でしたので、地質や水に塩分の名残を含んでいる上、藻類が繁殖して臭いの原因になっていました。そこで霞ヶ浦浄水場では臭いを分解するため、一昨年国内初の特別な酸化処理を開始しました。本講演では、その原理や処理のポイントをご紹介します。また、関西で川が青くなる水質事故が起きた際に、国環研和光分室で精密な質量分析器により原因物質を特定したこともお話しします。そして、皆さんと水に関して災害に備えるための留意点などを考えたいと思います。

講演者略歴

**高校生の頃の自分への、
環境問題を自分ごと化するためのアドバイス**

蛇口をひねったら出てくる水道水はどこからきているかな？
どうやってきれいにしているのか考えてみよう！

浅見 真理 (あさみ まり)

環境リスク・健康領域 水道水質研究和光分室/上級主席研究員

東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、博士(工学)取得。国立公衆衛生院水道工学部研究員、厚生労働省健康局水道課課長補佐、同省大臣官房厚生科学課長補佐、国立保健医療科学院水道工学部水質管理室長、東京大学水環境制御研究センター客員教授兼務を経て、2025年4月に国立環境研究所に移管された水道水質研究和光分室長を務める。日本学術会議会員、同会議環境学委員会委員長、WHO 飲料水水質ガイドライン化学物質 WG メンバー等を務め、現中央環境審議会委員。著書(いずれも共著)に、「みんなで取り組む災害時の保健・医療・福祉活動」、「化学物質の複合影響と健康リスク評価」、「小規模な水供給システム」等がある。防災士。